



北九州市環境未来都市 取組紹介

【①-1-a】1) 総合的なエネルギー基本政策



- エネルギーを賢く、大事に使い、“温暖化対策”と“安定安価なエネルギー”を両立させる総合的なエネルギー基本政策を策定



- 多くのエネルギーを供給し、また消費する響灘地区においてスマートインダストリ(産業版スマートグリッド)の構築を検討



【①-1-a】2) 北九州スマートコミュニティ創造事業



Green Frontier
環境未来都市 北九州市
©teitan, City of Kitakyushu

P2

(1) 北九州スマートコミュニティ創造事業の実施

地域エネルギーマネジメントシステムの構築



地域節電所



コミュニティ
設置型蓄電池



太陽光発電

スマートメーターと宅内表示器



BEMS導入施設

(2) 環境未来都市国内外発信拠点整備事業の推進

(仮称)スマートシティセンター



まちなか案内システム



案内板



関連施設整備状況

(3) 今後の展開

国内展開

市内城野地区、岩手県釜石市などへ
事業の成果を展開



海外展開

アジア地域をはじめ海外へ
事業の成果を移転





人がつながり、多世代が「暮らし続けられる」
「ゼロ・カーボン」と「子育て支援・高齢者対応」のまちづくり

省エネ・創エネを
備えたエコ住宅

地域内の
エネルギー最適化

持続可能な
タウンマネジメント

公共交通の
利用促進



【①-1-b】1) 身近な場所における省エネ推進・再生可能エネルギー導入



● 身近な場所への率先導入



地域に身近な場所である
全ての小中学校へ
太陽光発電を導入



多くの人が集まる
小倉都心・黒崎副都心で
低炭素まちづくりを推進

● 市民や事業者向けの省エネ・再生可能エネルギー導入費用補助

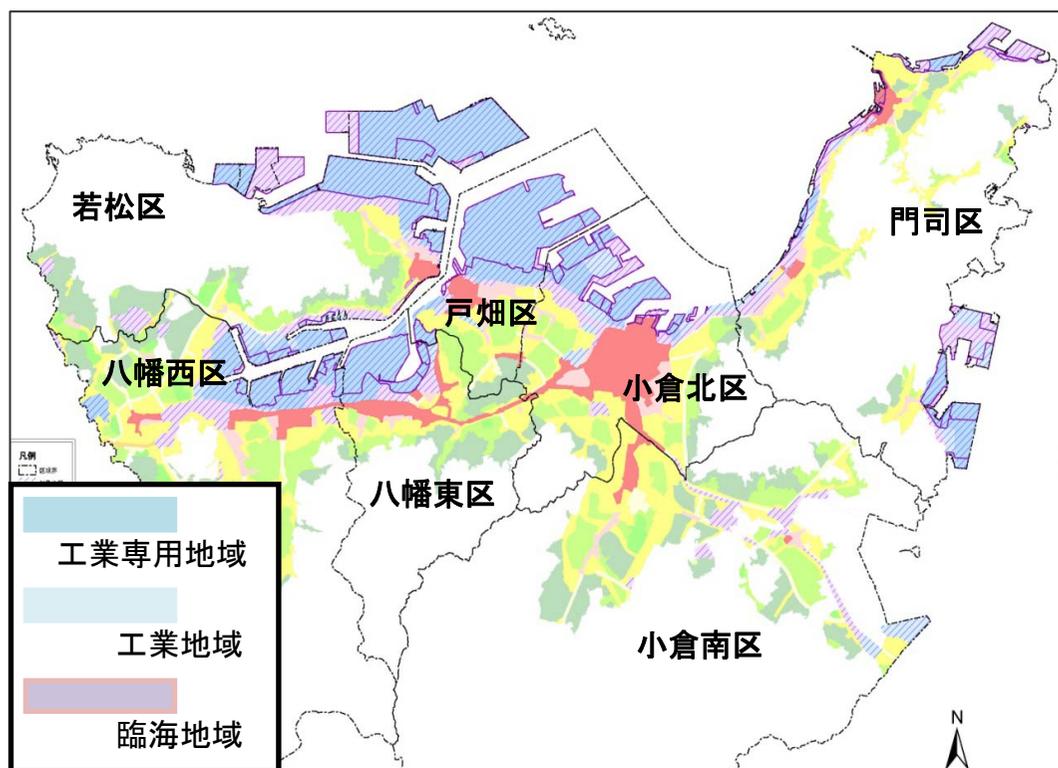


市民向け支援
・太陽光発電、燃料電池導入補助
・住宅リフォーム補助



事業者向け支援
・省エネ・再エネ導入補助
・設備導入に関する融資

【①-1-b】2) 大規模太陽光発電の導入促進



北九州市の立地特性

- 臨海部に太陽光発電設備の設置可能な工場・倉庫・遊休地が存在
- 高度な技術を持つ金属加工等の中小企業が存在

北九州市太陽光発電普及促進協議会

- 太陽光パネルメーカー
- 周辺機器メーカー
- 部材・部品メーカー
- 金融機関、大学、北九州市等

連携

ビジネススキームの検討
ビジネスモデルの創出

- ・設備投資の促進
- ・地域経済活性化
- ・市民、企業への啓発
- ・他地域への展開

【①-1-b】3) 大規模風力発電の導入促進等

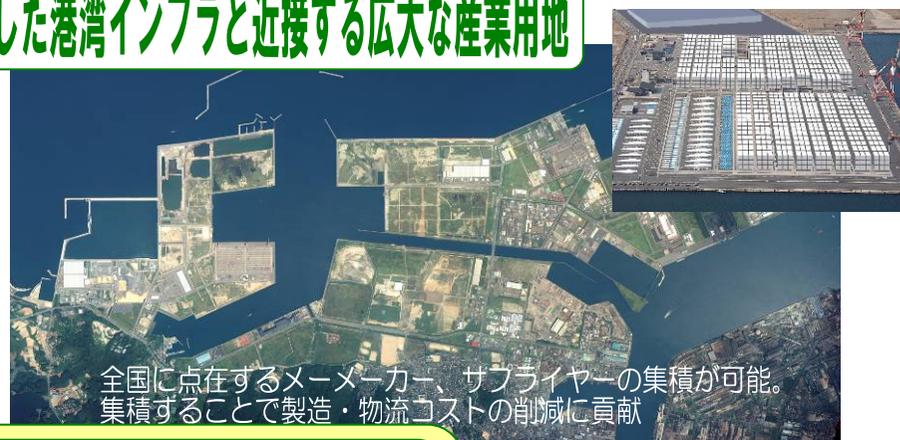


●グリーンエネルギーポートひびき～風力発電産業アジア総合拠点～

アジアに近い地理的優位性



充実した港湾インフラと近接する広大な産業用地



響灘地区のポテンシャルを活かし、風力発電産業に必要なものを集積

風力発電産業総合拠点形成

風力発電設置の状況

【既設】

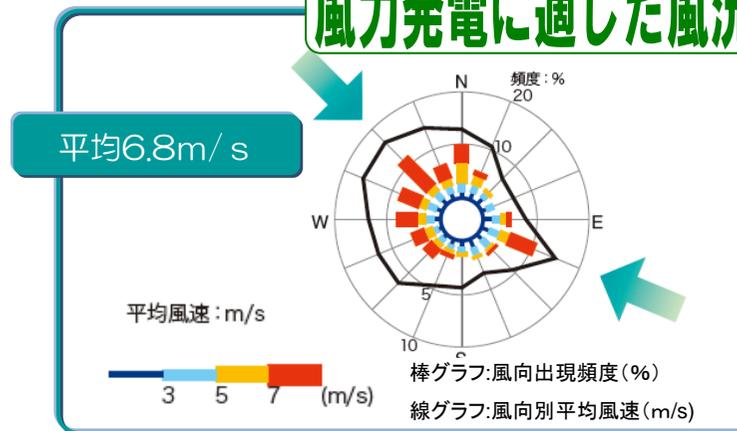
- ・1,500kW x 10基
- ・1,990kW x 1基

【予定】

- ・洋上風力発電
2,000kW x 1基



風力発電に適した風況



研究機関・認証試験機関の立地にも最適

【①-1-b】4) 次世代エネルギー等に関する導入促進



3分野が連携した先進的モデルとなる未来のまち～グリーンショールームの整備

PR・学習拠点施設:

北九州エコタウンセンター



●市民・NPO・企業
植樹会等の緑化活動

響灘ビオトープ
緑の回廊づくり
(自然共生)

響灘ビオトープ



●市民・企業
●国内外の都市

発信

低炭素・資源循環・自然共生の
PR・学習拠点施設

参加

次世代エネルギー
パーク
(低炭素)

●エネルギーパーク参加企業
(エネルギー関連企業等)
9社10施設



風力発電施設

エコタウン
(資源循環)

●エコタウン参加企業
(リサイクル関連企業等)
28社29事業所



自動車リサイクル工場

連携

●研究機関等
北九州学術研究都市
アジア低炭素化センター
ほか



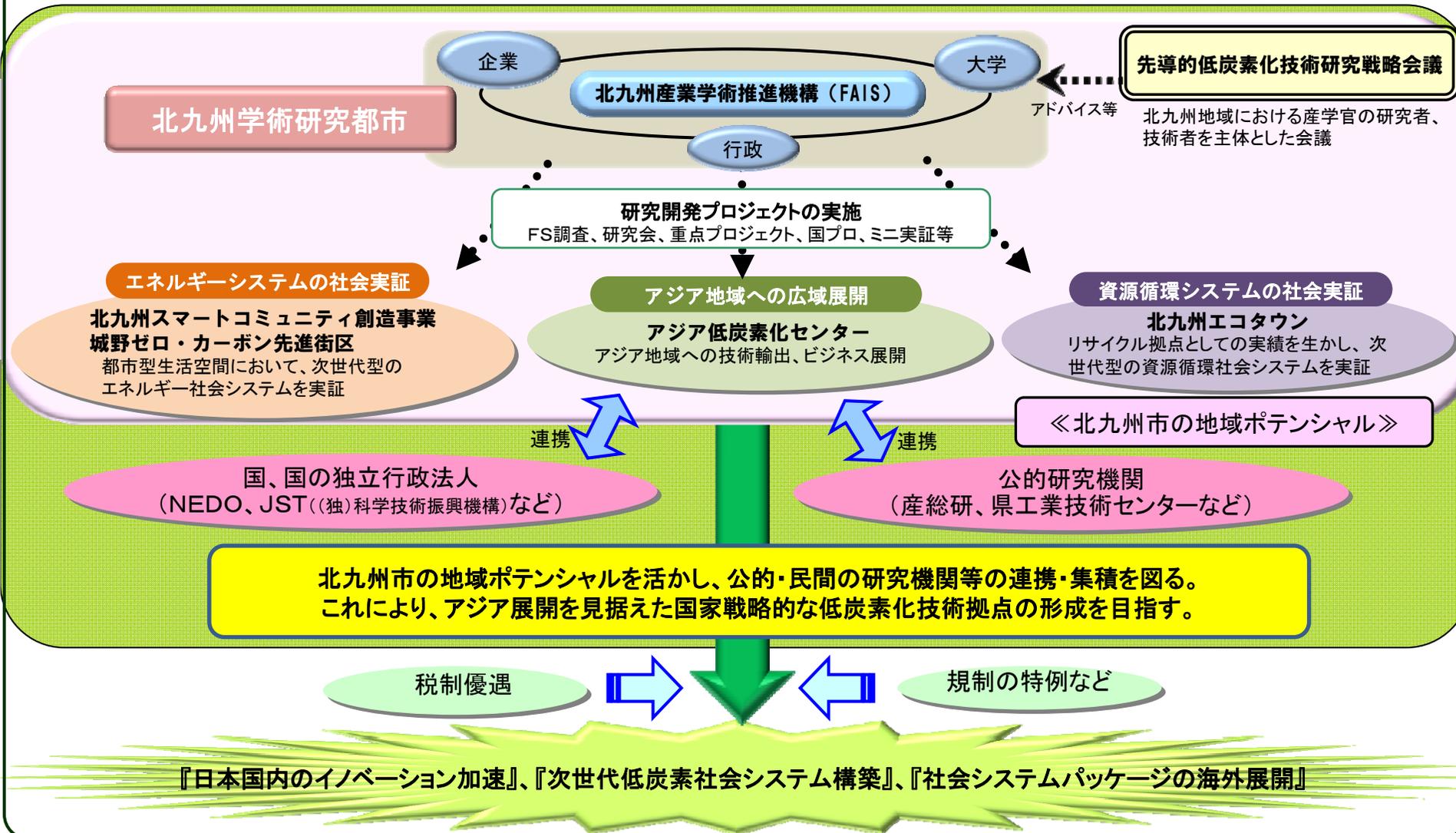
家電リサイクル工場

【①-1-b】5) グリーンイノベーション

研究開発拠点の形成



環境モデル都市としてのこれまでの取り組みやインフラ、既に構築されている産学連携機能等を活用して、低炭素化技術の研究開発から社会実証、ビジネスモデル及び社会システムの構築、海外への輸出に至るまでを一体的に推進する。



【①-1-c】1) 主要な公共交通軸の高機能化



① 幹線バス路線の高機能化

② 筑豊電気鉄道、北九州モノレールの高機能化

公共交通利用者増による渋滞緩和、低炭素化

① 幹線バス路線の高機能化

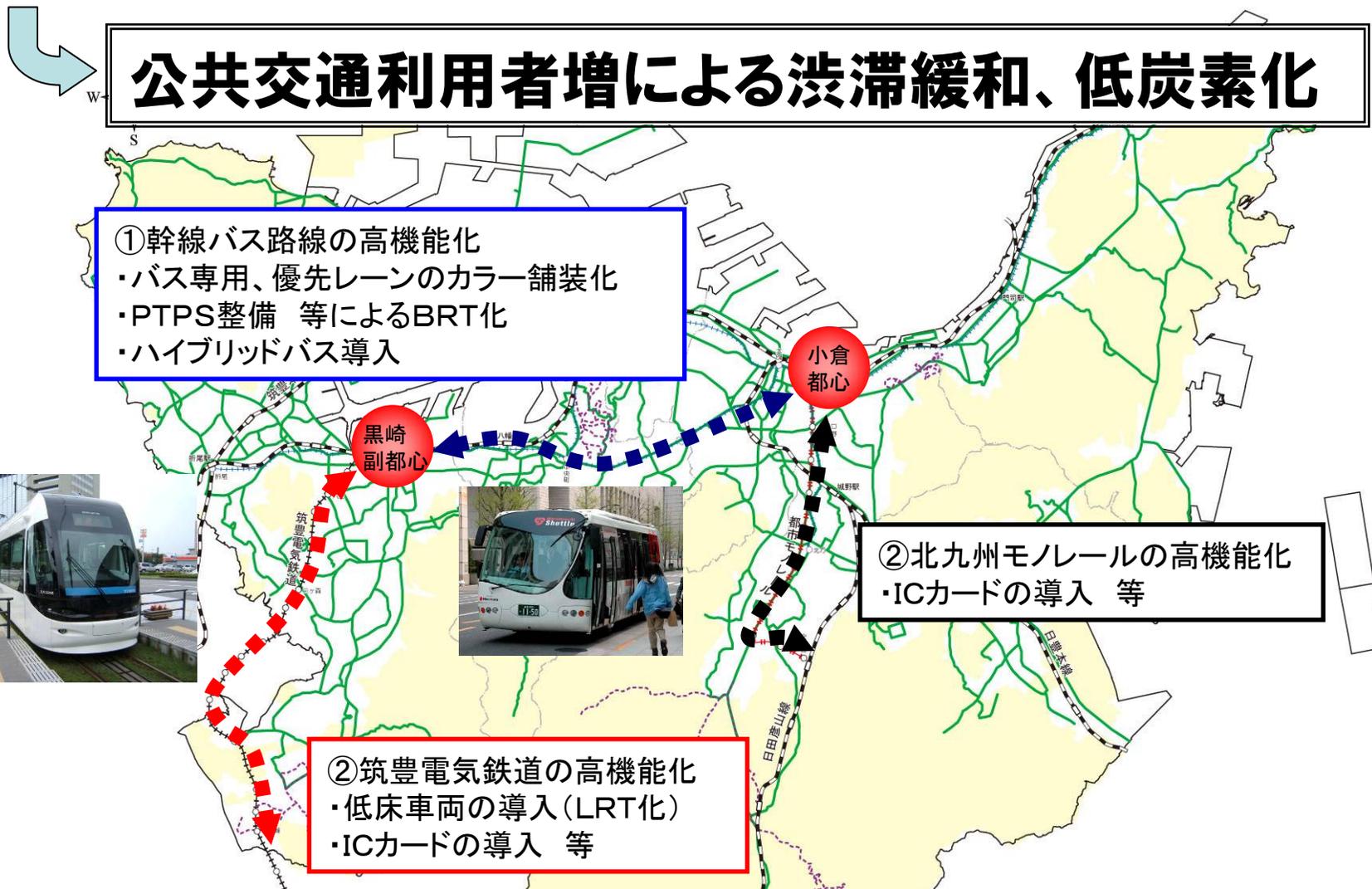
- ・バス専用、優先レーンのカラー舗装化
- ・PTPS整備 等によるBRT化
- ・ハイブリッドバス導入

② 北九州モノレールの高機能化

- ・ICカードの導入 等

② 筑豊電気鉄道の高機能化

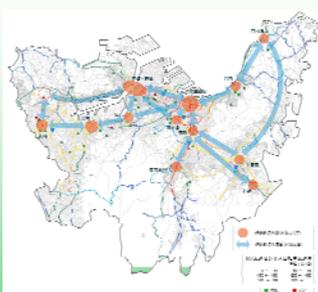
- ・低床車両の導入 (LRT化)
- ・ICカードの導入 等



【①-1-c】2) 自転車利用環境の向上

●環境負荷の少ない、自転車利用の促進

安全で快適な自転車走行空間の整備



自転車ネットワーク



利便性の高いコミュニティサイクルの利用促進



交通ルール遵守・マナー向上のための啓発



街頭指導



利便性の高い駐輪環境の創出



「楽しく」「からだにやさしい」自転車

自転車こぎは、全身運動

上半身の姿勢維持
(肩・首)

上り坂でハンドルの引き寄せ
(腕の筋肉)

バランスキープ
(腹筋・背筋)

ペダリング
(下半身の筋肉)



市民参加イベント



公共交通利用への行動の自発的変化を促す取組みである、「モビリティ・マネジメント」を推進

公共交通の維持存続、低炭素化

■モビリティマネジメントの実施



公共交通の維持や環境負荷の軽減を目的に、住民や企業、学校を対象に、マイカー利用から公共交通利用への行動の自発的な変化を促す取り組みを行います。

現在の移動

将来の移動手段

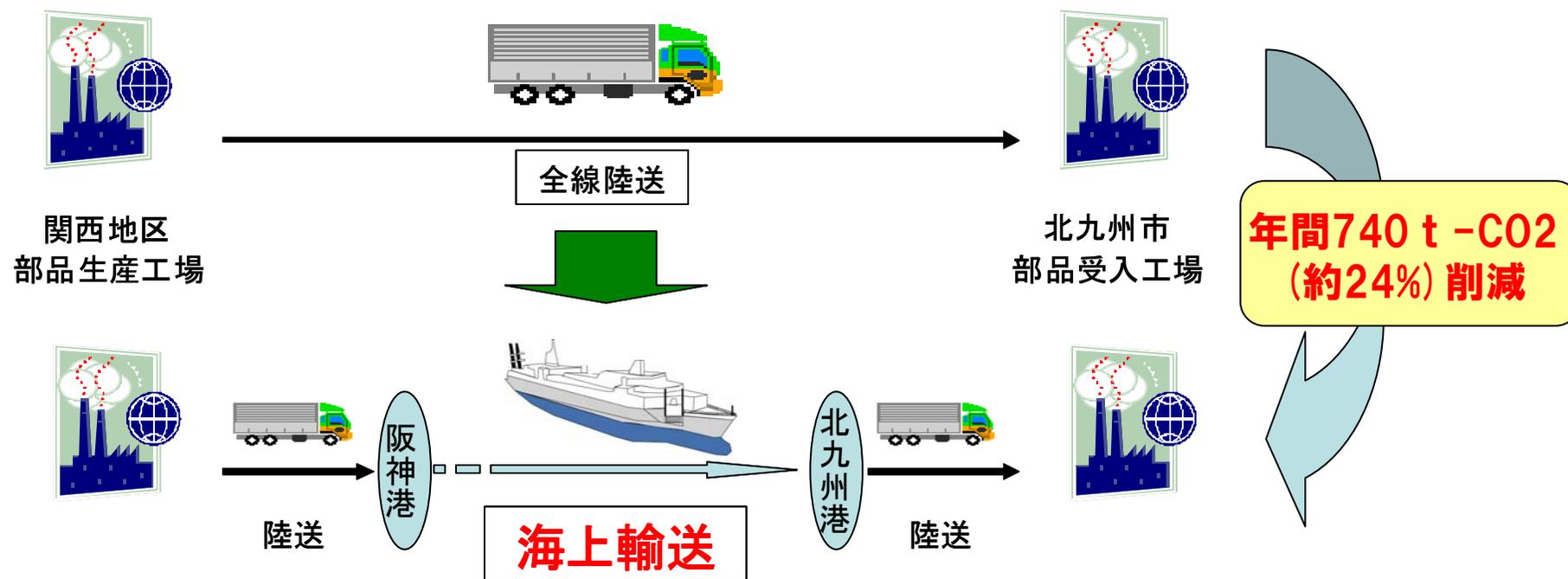


市全域での取り組みイメージ

【①-1-c】4) モーダルシフトの推進

モーダルシフトとは・・・貨物輸送の方法をトラックからCO2排出量の少ない船舶や鉄道に切り替えること

【例：関西地区から北九州市への貨物輸送(10,000t/年)をモーダルシフトした場合】



【目標】 北九州港を利用したモーダルシフトを推進することで、
運輸面でのCO2排出量を5年間で「42,000 t-CO2」削減

【①-1-c】5) 国際RORO航路による 効率的な海上輸送

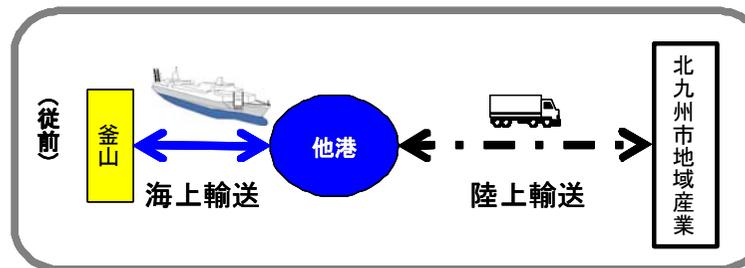


RORO船とは・・・トレーラー等の車両が自走で乗り込んで
貨物の搬出入が可能な輸送船

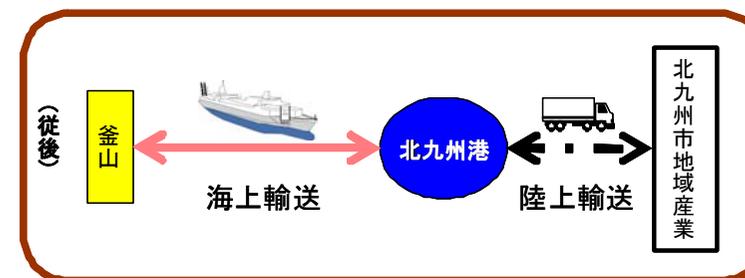


近年、定時性・高速性といった高
付加価値輸送が可能な国際定
期RORO船による輸送のニーズ
が高まっている

RORO船就航によるCO2削減効果



陸送距離短縮により
CO2排出量従前比
約37%削減



現状

国際定期RORO航路がない
ため遠い他港まで陸送

非効率な輸送による過度な
CO2および費用の発生

RORO船運航船社への支援を実施することで
国際定期RORO航路の就航を促す

CO2の削減
企業の利便性向上

● 将来的な化石燃料の枯渇に対応する自動車社会の構築

- 電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の普及促進
- 電気自動車用充電インフラ整備
- 水素燃料電池自動車・バス(FCV)の普及に向けて先導的な役割を果たす

① 需要の創出、普及啓発

- 購入助成
- 公用車への率先導入
- 公用車を活用したカーシェアリング
- エコカーフェアの開催

【公用車への導入】



【エコカーフェア試乗会】 【夏祭りパレード】



② インフラ整備の推進

- バランスのとれた充電インフラ整備
- 公共施設への率先整備
- 民間施設への整備費助成
- 情報発信

【市内の設置箇所】



③ 企業、自治体との連携

- 日産自動車等との普及連携
- 下関市等との充電インフラ連携
- 福岡県とのFCV普及連携

【日産自動車との連携】

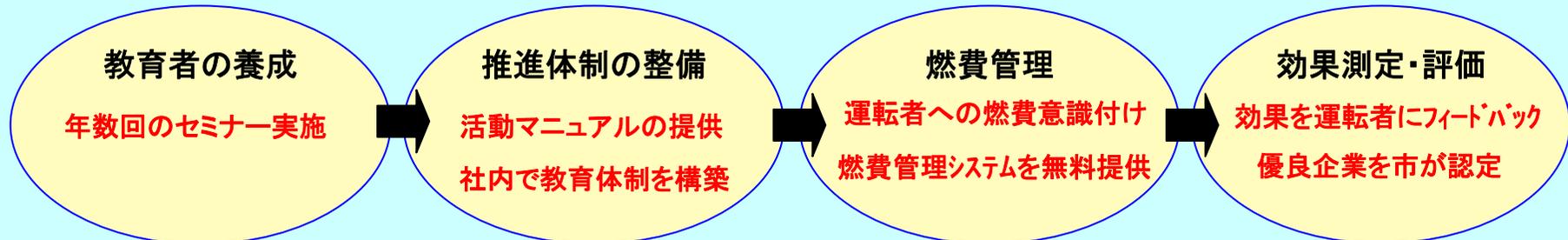


【下関市との連携】 【福岡県との連携】



●企業や市民の方へのエコドライブ活動支援

○社内でのマネジメント体制構築支援



○市民の方への普及啓発

① アイドリングストップの啓発



② 職員による出前講演



③ 実車教習



④ 燃費グランプリ



【①-2-a】1) 実践的環境人材育成拠点の形成

●アジアの環境人材育成拠点



専門家派遣



国際研修



公益財団法人北九州国際技術協力協会(KITA)



国際研修

【①-2-a】2) 戦略的環境国際協力の推進



● アジア諸都市とのネットワークを活用した 環境国際協力やビジネスの推進



プノンペン市
(カンボジア)
水道事業



スラバヤ市
(インドネシア)
生ゴミ堆肥化

アジアの環境協力都市ネットワーク



大連市・環境改善
大連市は2001年に国連環境計画からグローバル500を受賞



【①-3-a】1) まちの森プロジェクト 環境首都100万本植樹



●世帯や世代を越えた「地域の力」、「地域のつながり」の活用

子どもも参加した
どんぐり拾い



・高齢者の知恵の活用
・元気な高齢者の増加



未利用地等を活用した
高齢者等による
苗木づくり

社会的連帯感の回復
(地域づくり)

・子どもを健やかに育む
・環境教育



・多世代交流
・自宅での植樹推進
～わたし記念日



市民による植樹



・街なかの緑化
～八幡東田グリーン
グリッド事業
北九州市水と緑の
基金の活用

【①-3-a】2) 里地里山の保全や利用



● 里地里山の保全や利用～自然のふれあいと人に優しいコンパクトシティの形成～

子どもの農業体験
学習の支援



都市住民と農家の協働による
訪れたいくなる里地里山づくり



・放置竹林の整備

レクリエーションの場
の提供



・市民の森等の適正管理

響灘ビオトープ



生物多様性・希少種の保全活動



曽根干潟の保全



◆未来都市推進の原動力となる市民環境力を向上させる持続可能な学習システム(ESD)を構築します。

【環境価値】

環境教育が充実し、市民環境力が向上

- ・3Rの取り組みが進む資源が循環する持続可能なまち
- ・環境が都市ブランドとして成り立つまち



環境ミュージアムとエコハウス

【社会的価値】

環境教育を通じた地域コミュニティの活性化

- ・市民が日々成長できるまち
- ・環境教育が充実し、市民の環協力の高いまち



環境未来都市の推進力UP

【経済的価値】

環境学習ツアーを新たな観光ビジネスとして創出



- ・雇用や所得が拡大し高齢者や女性が働けるまち
- ・国内外から多様な人材・技術が集積するまち



●北九州市でしかできない！北九州市だからできる！修学旅行

産廃処分場跡地での植樹

地球温暖化防止

環境ミュージアム

いのちのたび博物館

自然共生

シャボン玉石けん

資源循環

風力発電

北九州エコタウン

生ごみコンポストづくり

TOTO

九州製紙

到津の森公園

あらゆる角度から環境の主要3テーマを学習できる

北九州市に訪れた“次世代を担う若者”が、北九州市や企業の環境への取組みを学び、体験することで、環境への意識が高まり、多くの気づきが生まれる。



広域収集体制の確立

1次破碎

選別

2次破碎

選別



レアメタル・貴金属の濃縮回収



高度なリサイクル技術

製錬メーカー

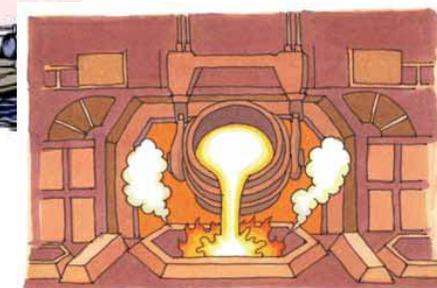


新しい小型電子機器の部品へ利用



金・銀・銅・パラジウム

レアメタル・貴金属の再資源化



①-4-a) 2) 使用済みリチウムイオン電池のリユース・リサイクル技術及びシステムの開発



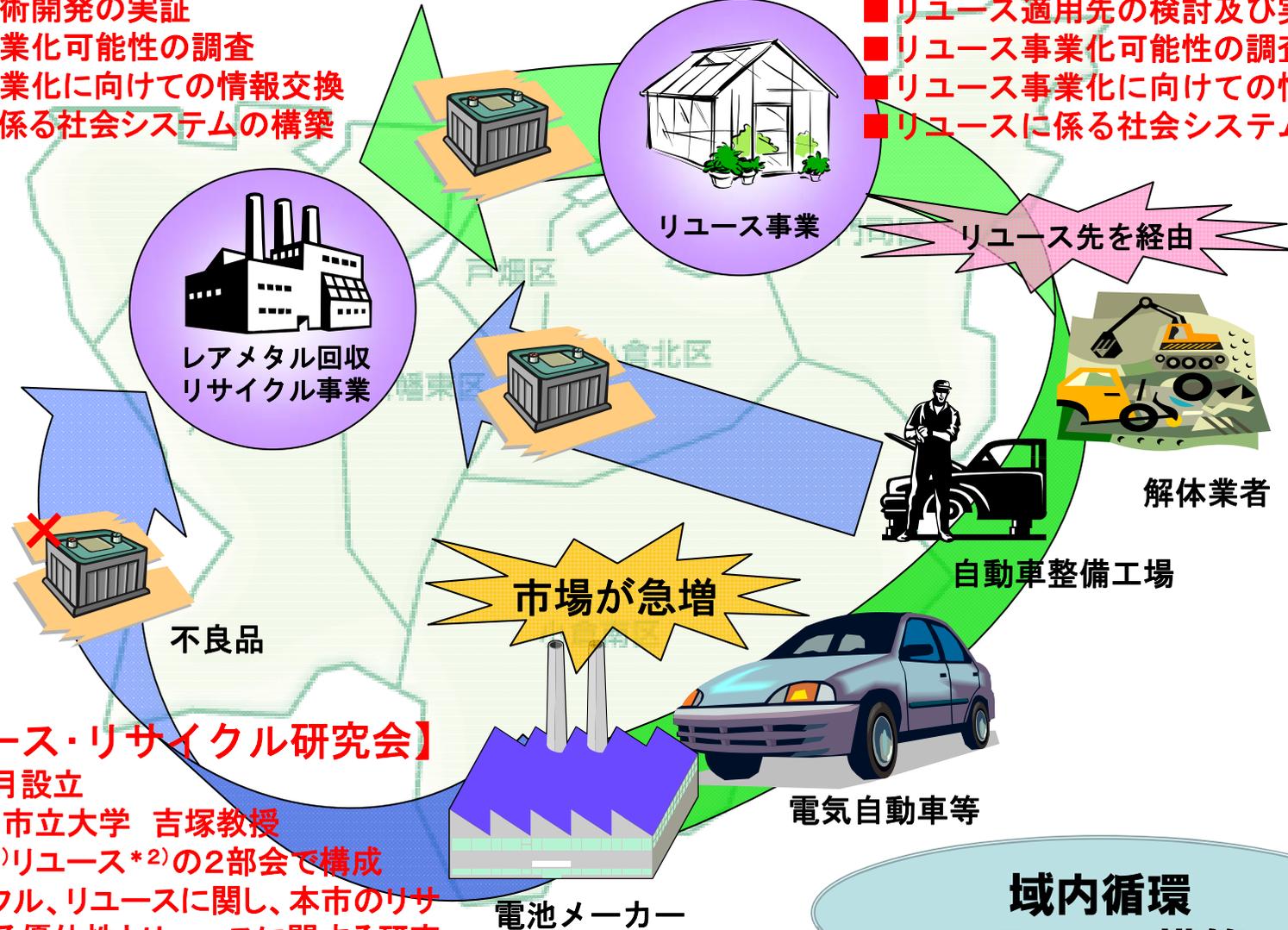
* 1【リサイクル部会】

- リサイクル技術開発の実証
- リサイクル事業化可能性の調査
- リサイクル事業化に向けての情報交換
- リサイクルに係る社会システムの構築

リユース例 農業関連施設

* 2【リユース部会】

- リユース適用先の検討及び実証
- リユース事業化可能性の調査
- リユース事業化に向けての情報交換
- リユースに係る社会システムの構築



【LIBリユース・リサイクル研究会】

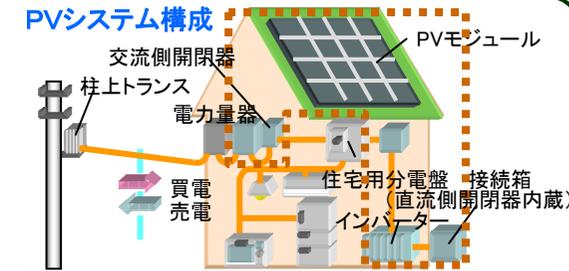
- 平成23年7月設立
- 座長: 北九州市立大学 吉塚教授
- リサイクル*1)リユース*2)の2部会で構成
- LIBのリサイクル、リユースに関し、本市のリサイクルに関する優位性とリユースに関する研究を融合させたモデルを提案していく。

域内循環
システムの構築

【1-4-a】3) 太陽電池(PV)モジュールシステムの 広域リサイクル手法の開発

近い将来、大量廃棄が予想される太陽光発電(PV※)システム等について、リサイクル技術の開発や広域収集体制、リサイクル料金などの検討を行い、資源循環型システムを構築し、本市でのリサイクル拠点形成ならびにリサイクル技術・リサイクルシステムのビジネス化に取り組む。

※PV=Photovoltaic (太陽光発電)



出典：経済産業省「エネルギー白書」2004年度版、ぎょうせい(2004年6月) 参照し作成

背景

- 1980年代以降設置の太陽光発電(PV)システム寿命が順次到来
- 今後の急速な普及に伴う廃棄量の増加
- 普及拡大による各社増産に伴い製造工程での不良品等廃棄物の急増

予想される問題点

- 不法投棄による有害物質の拡散
- リサイクル可能な希少資源の流出
- 不正流出による日本製商品の信頼性失墜

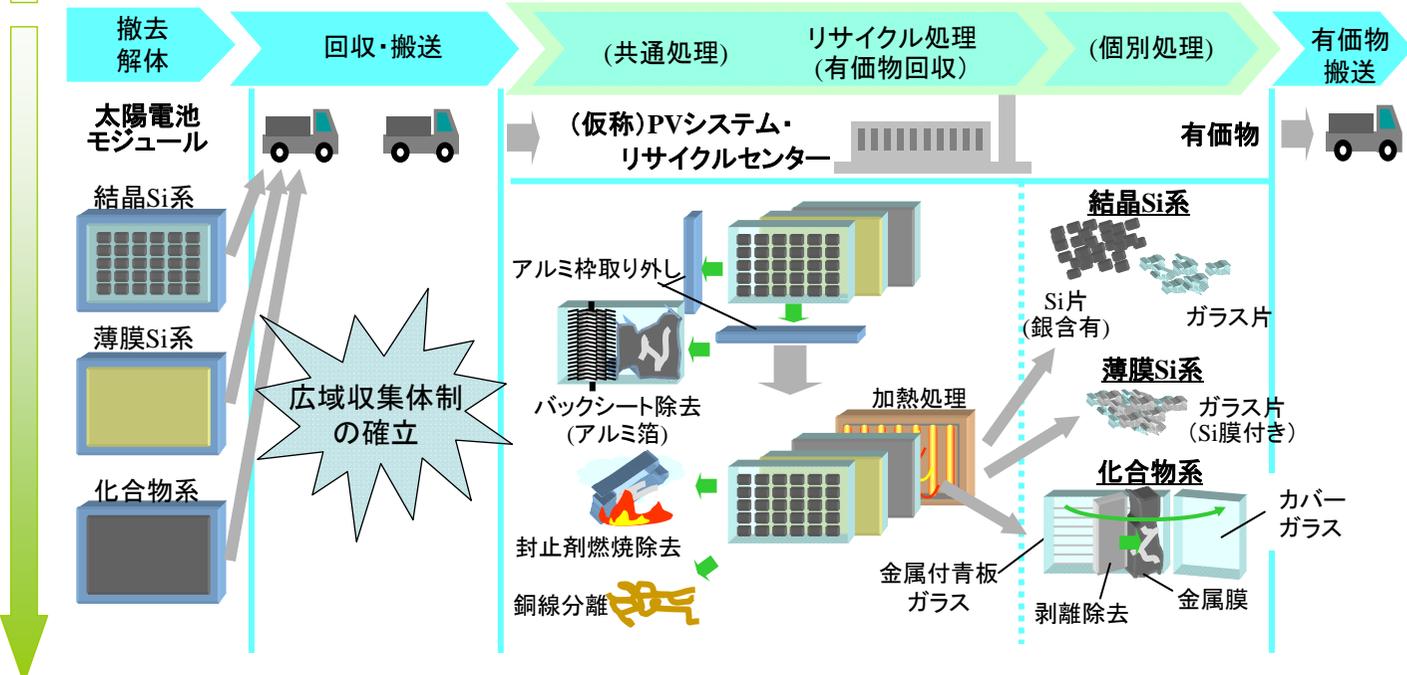
解決の必要性

- 結晶系、薄膜系等の多様な製品に対応可能なリサイクル技術の確立
- 広域的な回収及びリサイクル料金の徴収を可能とする制度等の「社会システム」の構築

1. NEDO ((独)新エネルギー・産業技術総合開発機構)のプロジェクトに採択 (平成22年度～平成24年度)

- 実施項目：①PVリサイクルの技術開発 ②収集・運搬等リサイクルに必要な社会システムの検討

【各種太陽電池の処理工程(案)】



2. 検討後、(仮称)PVシステム・リサイクルセンターの設立(北九州エコタウン内)を目指す (平成26年度～)

【①-4-a】4) 北九州エコタウンの海外展開

これまで協力してきた青島市、天津市、大連市におけるエコタウン整備の成果を踏まえ、様々な支援政策やビジネスモデルなどの経験やノウハウを取りまとめ、総合パッケージ化を図る。⇒北九州エコタウンをアジア各都市で展開

<中国・天津市でのエコタウン事業>



北九州市の協力により策定したマスタープランに基づき、家電リサイクルや自動車リサイクルなどの事業も進展。現在、日本企業と中国企業の合併により、廃プラスチックのモデル工場及び団地の整備に向けた実現可能性調査を実施。

<中国・大連市でのエコタウン事業>



マスタープラン及び実施計画の策定や、リサイクル事業者の集約化のための条例制定などを支援。中国企業は、集約化に伴う工場移転にあたって、日本企業との共同事業や技術導入などを模索しており、日本企業のビジネスチャンスも拡大。



●市民が主体的に取り組む環境活動の支援



古紙のリサイクル



生ごみのコンポスト化

地域環境活動
の推進



剪定枝のリサイクル



廃食用油のリサイクル

【②-1-a】地域連携による健康の維持・向上

1) 生活習慣病予防および重症化予防

地域住民、専門職、医師会、行政等の関係機関が連携、生活習慣病予備群の早期把握、個別の健康課題に応じた効果的な保健指導を実施

慢性腎臓病予防 連携システム

特定健診結果から、かかりつけ医と腎臓専門医との連携により、慢性腎臓病を早期に発見、その予防及び重症化予防と、心血管疾患の発症抑制を目指す

(政令市初の取組み)



特定保健指導の充実

特定健診の結果、内臓脂肪型肥満の方で、血糖や脂質、血圧が基準値を超える方を対象に、医師、保健師、管理栄養士などが個別に実施する特定保健指導の一層の充実



家庭訪問等による 保健指導の充実

特定保健指導の対象外となる、例えば、「痩せているが血圧の高い方」「受診中であるが糖尿病の改善が図られていない方」などを対象に、保健師や栄養士等が家庭訪問等を行い、生活習慣の改善や治療の継続を支援し、重症化を予防



【②-1-a】地域連携による健康の維持・向上 2) 地域でGO!GO!健康づくり

市民センターを拠点とした健康づくり事業



講演会



体力測定

地域住民が
自ら企画・実践



ウォーキング



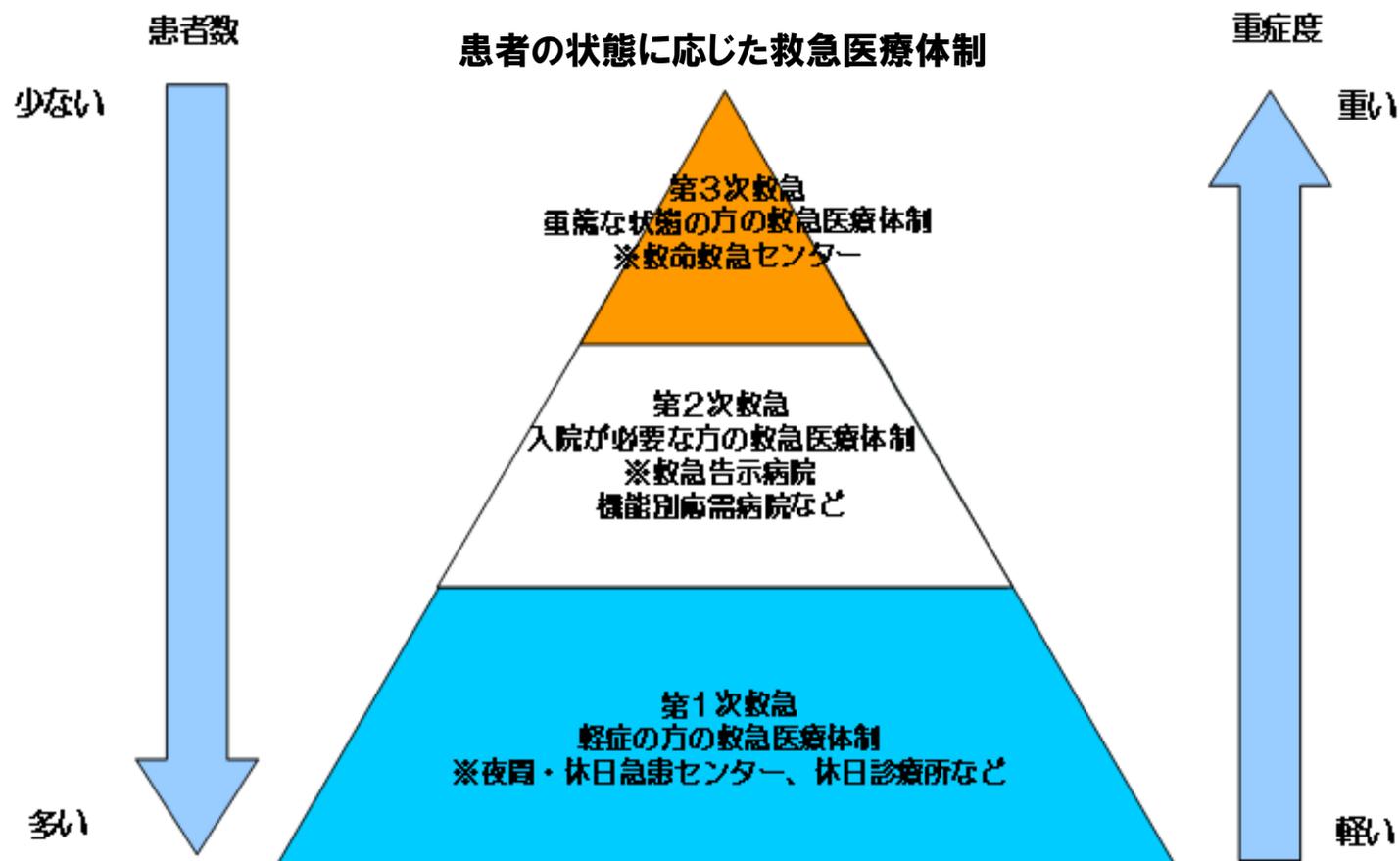
ラジオ体操

【②-1-b】 救急医療体制、 リハビリテーション体制の充実



■ 充実した救急医療体制

- ◎ 医師会や医療関係機関との連携による、患者の状態に応じた救急医療体制
- ◎ 全国的にも数少ない眼科・耳鼻咽喉科救急医療体制
- ◎ 24時間365日体制のテレフォンセンター



【②-1-c】 障害児者の 先進的リハビリテーションの充実



■ 総合療育センターを拠点とした支援事業の展開

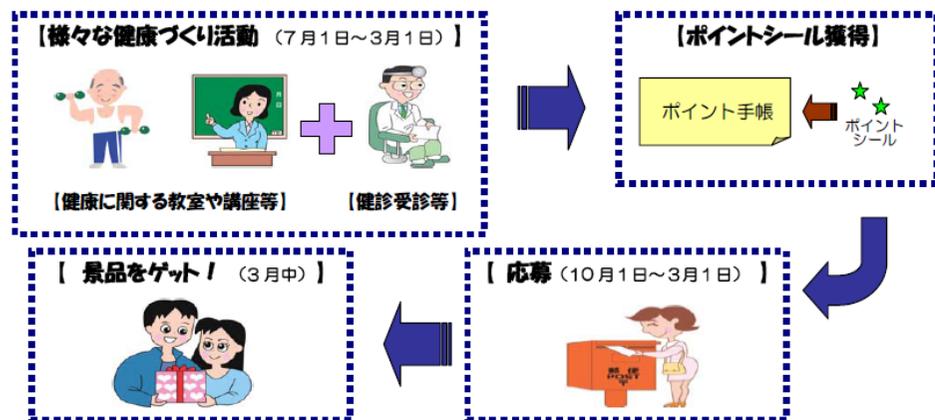
- ◎医療・保育・教育の連携の下、障害児の先進的リハビリテーションとして、
昭和53年**全国で初めて開設**（日本の小児リハビリテーションの先進的モデル）
- ◎ワンストップであらゆる障害児のニーズに対応できる**西日本の拠点施設**
（多様でより質の高い障害児医療・リハビリテーションを提供）
- ◎地域医療機関との連携による協力体制
 - ・ NICU(新生児集中治療室)への総合療育センターリハビリスタッフの派遣
 - ・ 市立病院の小児科研修医の総合療育センターへの定期的派遣
- ◎総合療育センターの再整備
 - ・ 機能充実について改築等の施設整備を含めた検討



【②-2-a】 住民主体の健康づくりの推進

■健康マイレージ事業

マイレージポイントを集めて、自分にご褒美！
みんなで楽しく参加して健康になろう！！



■公園で健康づくり事業



■百万人の介護予防事業



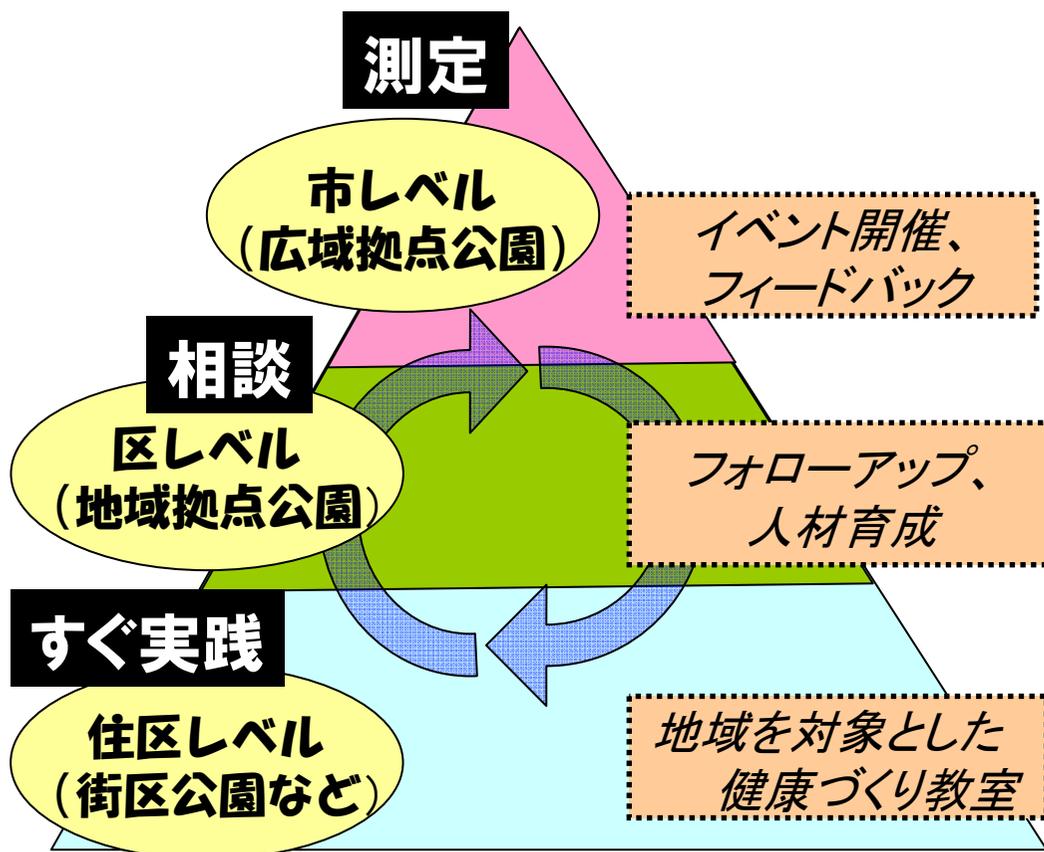
きたきゅう体操(介護予防体操)



ひまわりタイチー(介護予防太極拳)



高齢者に優しく効果的な健康遊具と健康づくりプログラムを開発

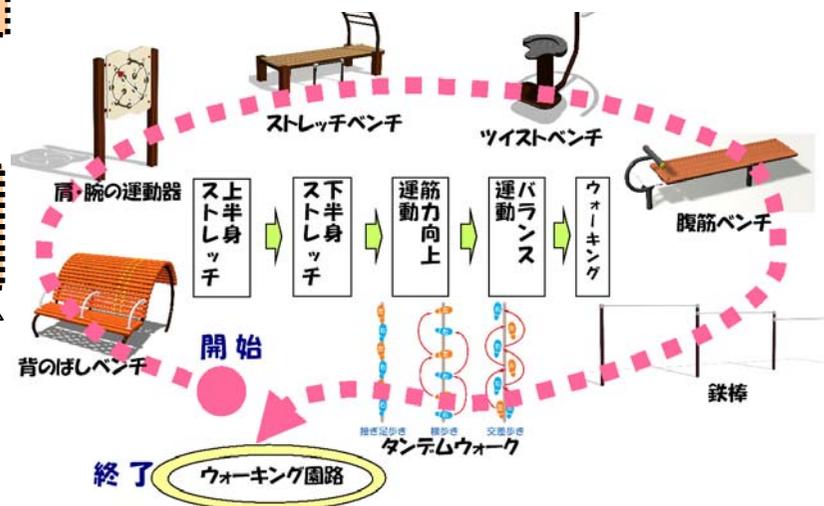


健康づくり公園の3層構造

●拠点公園における運動教室



●拠点公園における運動プログラム





まちの森プロジェクト



生涯現役夢追塾卒業生の活動



▲ウォーキング大会

▲災害支援のための街頭募金

年長者研修大学卒業生の活動



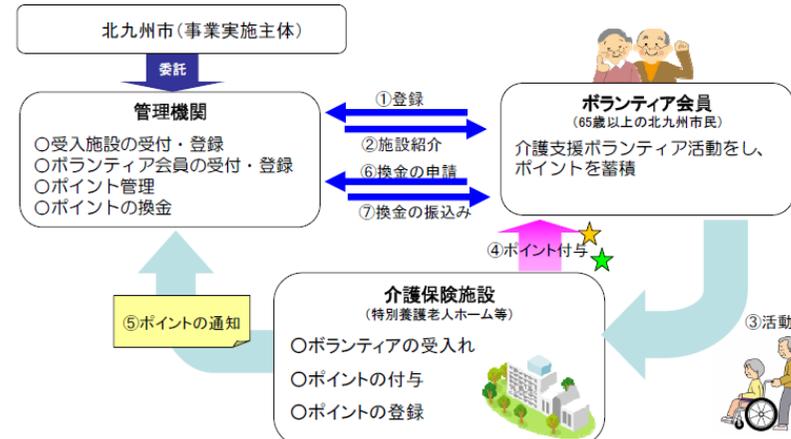
▲年長者研修大学
(周望学舎)



▲子どもへの折り紙指導教室

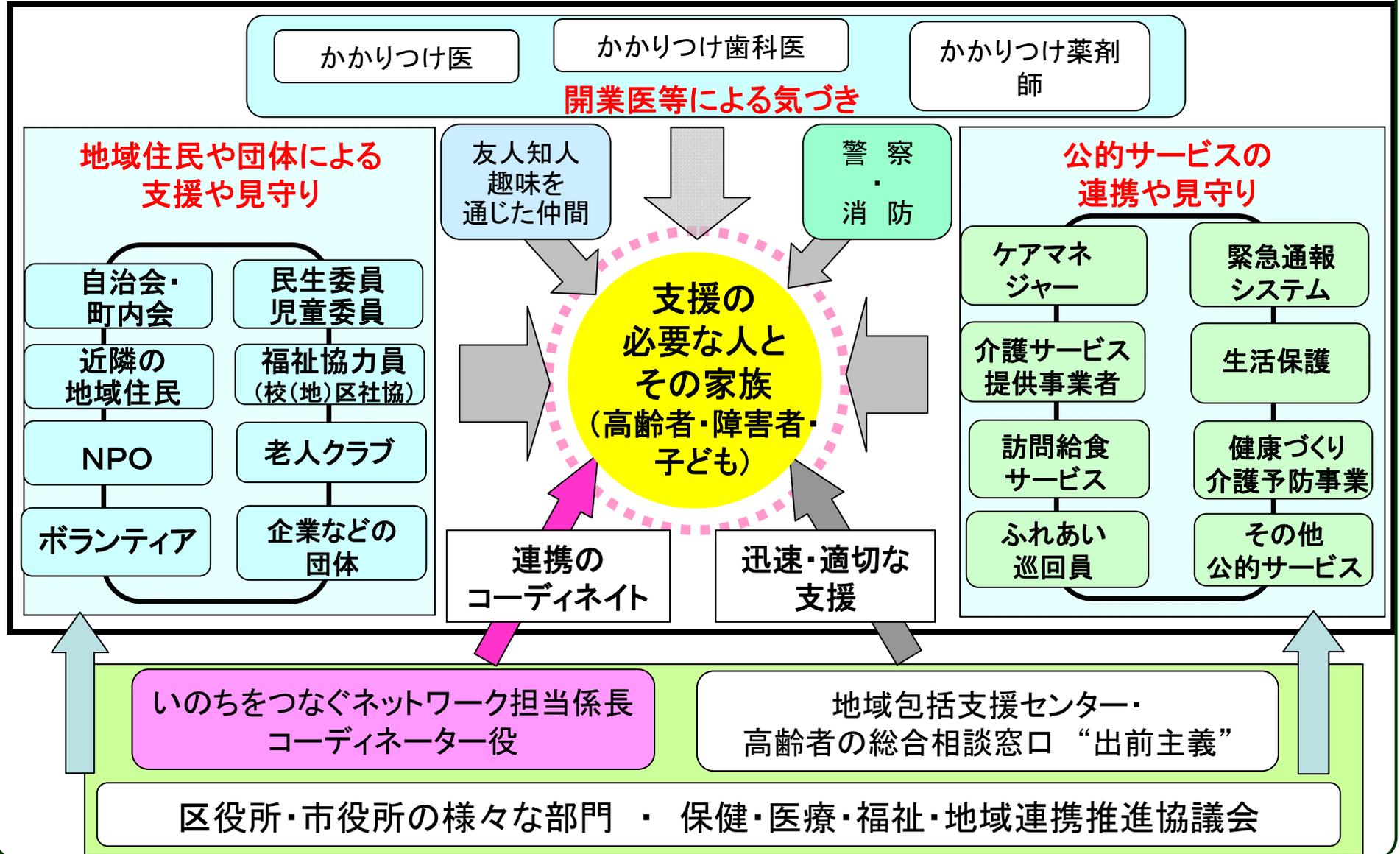
介護支援ボランティア事業

元気な高齢者による社会参加・地域貢献、健康増進・介護予防を促進するため、介護保険施設等におけるボランティア活動を奨励・支援





いのちをつなぐネットワーク事業



■ 地域包括支援センター

高齢者のための保健・医療・福祉の「ワンストップ相談窓口」

設置時期 平成18年4月1日

運営主体

◆ **北九州市(直営)**

◆ **出前主義**

➤ 来所した市民だけに対応するのではなく、自宅などに出向き、相談を受け迅速な支援につなげます

設置場所

◆ **地域包括支援センター 24か所**

* 高齢者人口約10,000人に1か所を目安

* 市民センターや出張所などの公的な場所

* 門司区:3、小倉北区:4、小倉南区:5、若松区:2

八幡東区:2、八幡西区:6、戸畑区:2

◆ **統括支援センター 7か所**

* 各区役所に設置



〔22年度相談実績〕

21万8,255件

■相談支援体制の再構築

障害のあるすべての人が、地域において安心・自立した生活営むことのできるように総合的な相談体制（仕事や住まい、生活など）を推進

◎ 障害者地域生活支援センター

障害者の生活全般に関して、家族や本人からの相談に応じ、関係機関との連携等、各種の支援を行う。

◎ 障害者しごとサポートセンター

就職を希望する障害者に、相談、情報提供、職場開拓の支援を行う。

◎ 障害者居住サポートセンター

障害者に対し、入居契約の支援や家賃保障事業者利用支援等の入居に関する支援などを行う。

◎ 発達障害者支援センター

発達障害について、本人や家族、関係機関、施設等からの相談に応じ、情報提供や助言、関係機関との連携・調整等を行う。

平成24年度以降

障害者の利便性に配慮した
相談支援体制の再構築

各種専門相談機関の有機的連携を図りながら、障害者に対する相談支援のワンストップの実現を目指す。



環境教育推進事業

体験的な学習を通して子どもたちの環境に対する認識を深めるとともに、主体的に行動する実践的な態度や資質、能力の育成を図る

【山田緑地での体験学習】



【エコタウンでの体験学習】



環境未来都市
にふさわしい
教育の推進

ユネスコスクール加盟の促進

【活動目的】

- 世界中の学校と生徒間・教師間の交流を通じて情報や体験を分かち合う
- 地球規模の諸問題に対処可能な新しい教育内容や手法の開発、発展を目指す
- ESD(持続可能な発展のための教育)の推進



スクールヘルパーの充実

本市が誇る教育ボランティア制度である「スクールヘルパー」を充実し、

スクールヘルパー日本一のまち に！

《活動内容》

- 安全対策
- 教育活動支援
- 障害のある児童生徒の支援
- 学校図書館の運営支援 など



【大学との連携】

経済界と連携した学校教育の充実

本市経済界と連携し、**地域を挙げた学校教育の充実を図るまち** に！

企業人による小学校応援団

平成23年10月発足 約150社が参加

平成24年度
モデル事業実施



平成25年度以降
対象を全小学校へ拡大

《学校応援プロジェクト》

- 児童に対する出前授業、体験学習支援
- PTA人材確保・活動支援
- 親学支援
- 教職員の研修支援

【②-3-a】3) いつまでも「健康」で いきいきと生活できる環境づくり



学校における食育の推進



- ・給食を「生きた教材」として活用
- ・残食リサイクル
- ・農業体験 など

小中学校9年間を
通した食育指導

食に関する知識、食を選択する力、
食に関して自立できる力 を培う

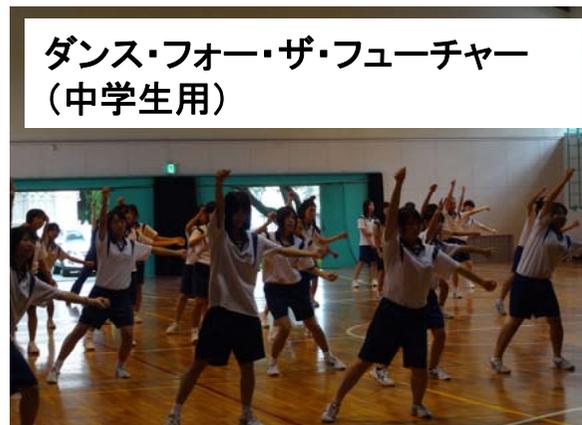


体力アップ推進事業

《本市独自のダンス》



キッズダンス(小学生用)



ダンス・フォー・ザ・フューチャー
(中学生用)

運動習慣の定着
基礎体力の向上
を図る



■ 東部地域における特別支援学校の整備

知的障害と病弱(心身症等)を対象とする特別支援学校を新設するなど、特別支援学校の体制整備を実施

■ 特別支援学級整備事業

特別支援学級の児童生徒数の増加に対応するための整備を実施

■ スクールバスの運行委託・購入



特別支援教育の
さらなる充実を目指す！



【②-3-b】

“北九州”「元気発進！子どもプラン」の推進



Green Frontier
環境未来都市 北九州市
©teitan, City of Kitakyushu

P41

「子どもの成長」と「子育て」を地域社会で支えあう“まちづくり”

子育てふれあい交流プラザ



放課後児童ヘルパー



子どもの館



- ・安心して生み育てることができる環境づくり
- ・仕事と子育ての両立支援
- ・ニート、ひきこもりの自立支援
- ・特別な支援を要する子どもや家庭への支援



子育てに優しいまちづくり推進事業



すくすく子育てフェスタ



子ども・若者応援センター「YELL」



- ①「子育てふれあい交流プラザ」、「子どもの館」の運営
- ②子育てに優しいまちづくり推進事業
- ③みんなの子育て・親育ち支援事業
- ④子育てに関する情報提供・PR
- ⑤子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)の推進



子育てに優しいまちづくり推進事業

地域ぐるみで子育てを支える取り組みを進めるため、小学校区単位を基本に、市民センター等を拠点とした子育て支援活動を促進する。



①放課後児童ヘルパーの設置

②放課後ジュニアリーダープログラムの展開



放課後児童ヘルパーの設置

地域の特性を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、地域と連携を図り、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支える。

①子ども・若者応援センター「YELL」の運営



子ども・若者応援センターの運営

子ども・若者の育成や支援に関する相談や関係機関の紹介、情報提供や助言等の総合相談やコーディネートを行うとともに、若者の課題に応じた自立支援のメニューを提供し、若者の自立を支援する『子ども・若者応援センター「YELL」』の運営を行う。



①虐待の早期発見・迅速かつ適切な対応及び児童への支援のための連携強化

子ども総合センター

子育てに関する悩みや不安、児童虐待、いじめ、不登校等、さまざまな課題に総合的に対応。

子ども・家庭相談コーナー

子どもや家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、必要なサービス・支援へとつなぐ総合的な相談窓口を市内全区役所に設置。

24時間子ども相談ホットライン

育児、いじめ、虐待、ひきこもりなど子どもに関するさまざまな相談を24時間体制で応じる。

【②-3-d】小児救急医療・ 周産期医療体制の充実

- ◎24時間365日体制の『小児救急センター』（市立八幡病院）
（高速道路を利用すれば市内のほぼ全域から30分以内に到着できる立地）
- ◎小児医療機関との連携による『小児救急ネットワーク』
（国立病院機構小倉医療センター、北九州総合病院、九州厚生年金病院）
- ◎2ヶ所の総合周産期母子医療センターを中心に整備された『周産期医療体制』
- ◎急な病気やケガに関する相談を受ける24時間365日体制の『テレフォンセンター』
- ◎消防局（救急隊）と連携した『未熟児・新生児救急医療体制』（政令市で本市のみ）

周産期医療体制



【③-1-b】1) 生活の面からの支援 （「絆」プロジェクト北九州）

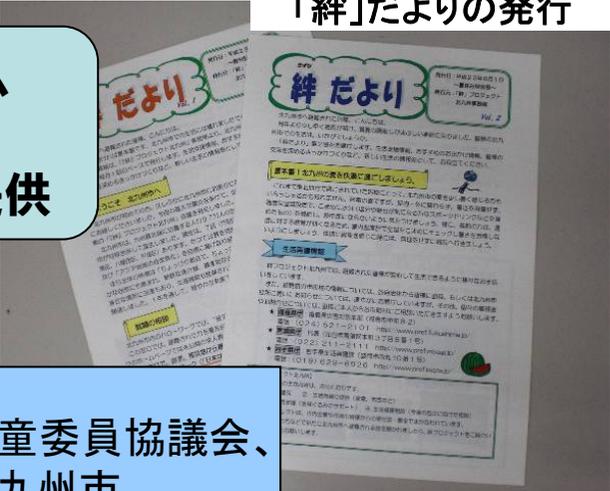


避難者の方々への
家電等、物資提供の提供

「絆」だよりの発行



「新しい公共」としての支援スキーム
民間、NPO、行政が協働で
住宅確保から生活支援まで一体で提供



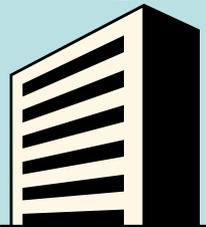
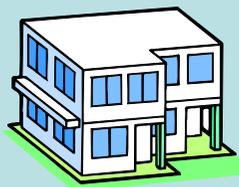
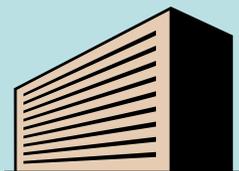
『絆』プロジェクト北九州会議

社会福祉協議会、自治会総連合会、市民生委員児童委員協議会、
高齢者福祉事業協会、NPO団体、商工会議所、北九州市



【③-1-b】2) 産業の面からの被災地支援 (ものづくりの絆プロジェクト)

北九州市内企業



支援メニュー
の登録・提供



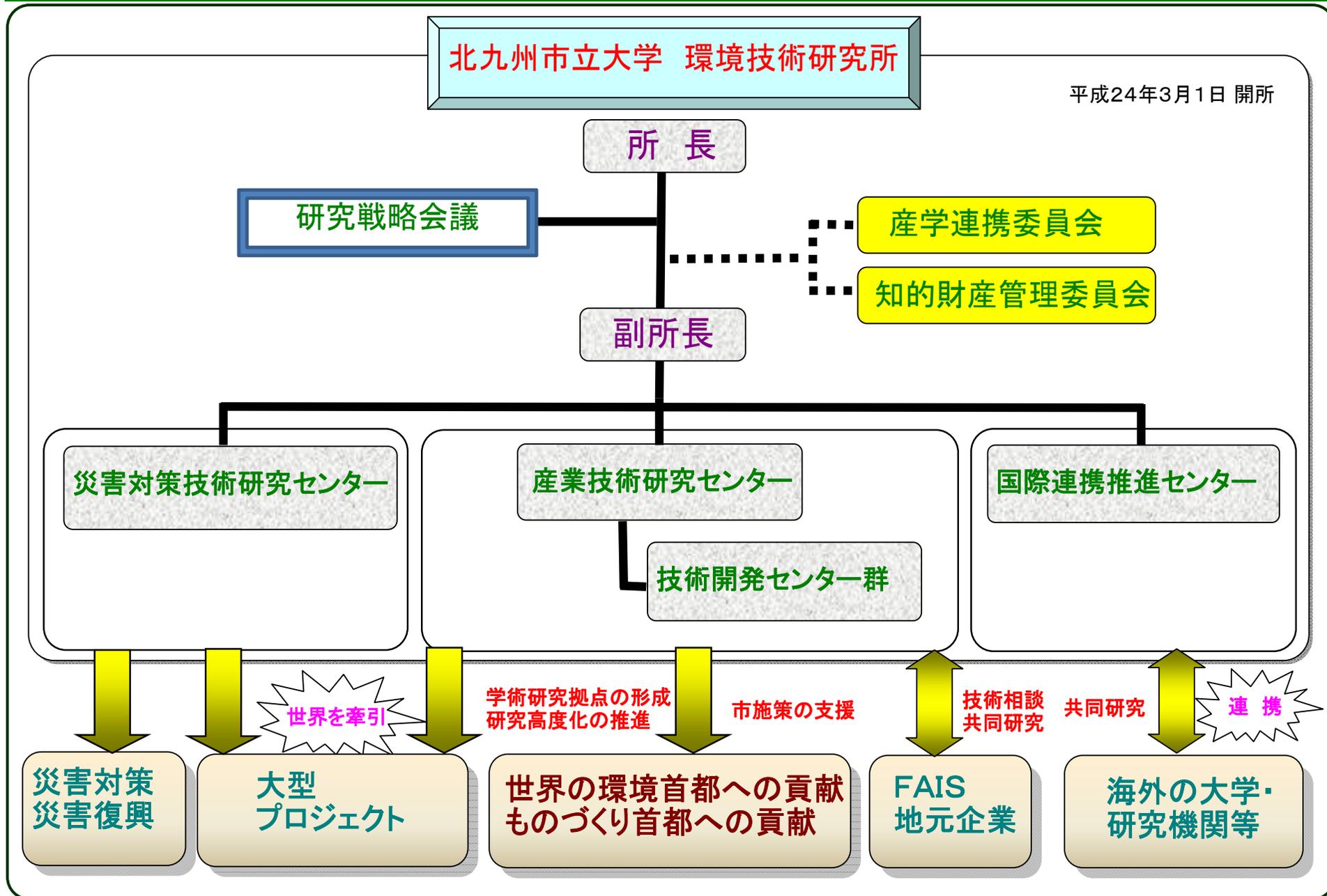
被災地企業の
復旧・復興支援

被災地へ

北九州市

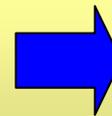
本市『ものづくりの街の
ノウハウ』を活用

【③-1-b】3) 大学の持つ技術面からの支援

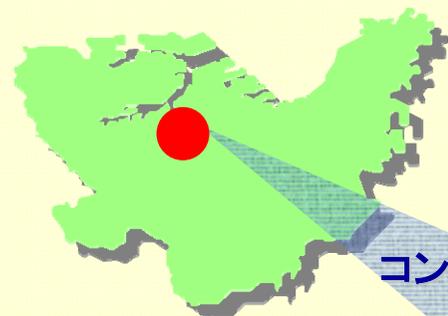


【③-1-c】 ディザスタリカバリ拠点の形成

**BCP(事業継続計画)の
本市の優位性**



- ・地震や津波が少ない
- ・原子力発電所から遠い



コンタクトセンター



データセンター



情報倉庫



IT人材育成



北九州e-PORT
情報通信基盤の集積

企業



行政



情報システム、情報資産のリスク分散
オフィス機能の補完を含めた拠点形成

地域企業、IT関連企業など

周辺の自治体など

ディザスタリカバリ
拠点性の検討

モデルサービスの検討

ディザスタリカバリ拠点化推進
アクションプランの策定



「アジア低炭素化センター」を核に官民が連携し、相手のニーズに応じて、都市環境インフラに係る技術やノウハウ等を組み合わせ、商品化する(パッケージ化)

北九州市の

エコタウン

上下水処理技術

スマートコミュニティ

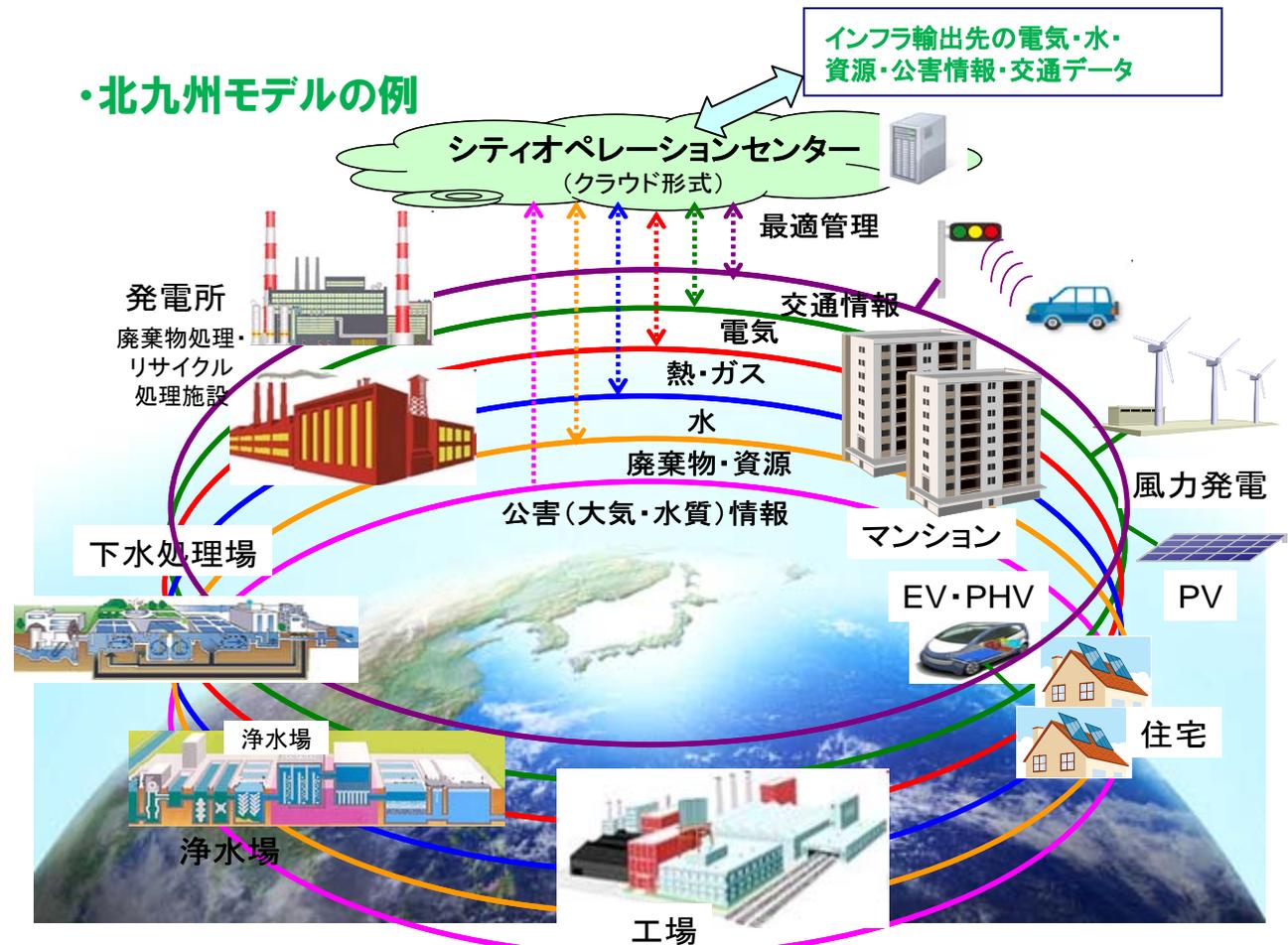
公害防止技術 (CP)

官民連携による
知識の構造化

都市環境インフラの
パッケージ化

海外展開
(パッケージのセット、要素)

・北九州モデルの例



③-2-a) 2) 海外とのネットワークを活用したマーケティング活動



- ウォータープラザ、スマートコミュニティなど市内の先端環境関連施設をネットワーク化
⇒グリーンショールーム化
- 北九州市が構築してきた国際ネットワーク・人脈の再整備・拡充
⇒マーケティング・プラットフォームの構築

特区の持つ強みと課題

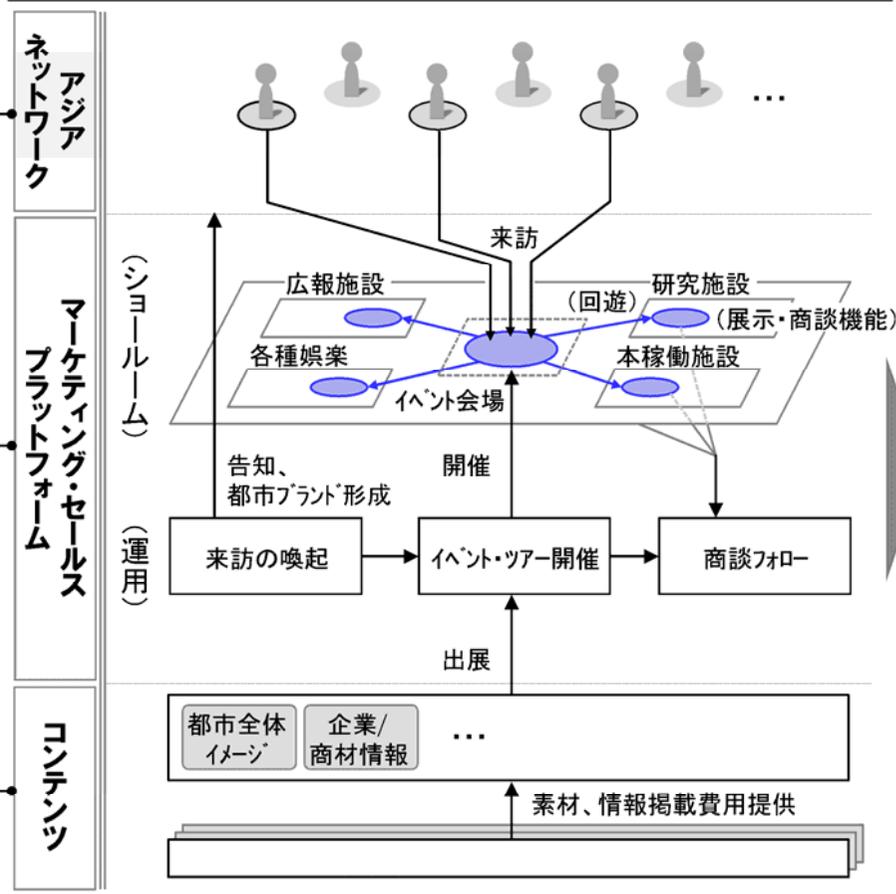
強み 約6,000人のアジアネットワーク
自治体の国際協力やKITAの研究などを通じて多くのアジアネットワークを蓄積

強み 数々の実証・稼働施設、要人招聘の経験
・「北九州エコタウン」
・「北九州ウォータープラザ」
・東田地区スマートコミュニティ など
・施設などへの要人招聘経験

数々の実証施設、要人招聘の経験などを持つが、単発的であり、展示効果を最大化する仕組みが不足

強み 自治体および連携企業の持つ技術・ノウハウ
・自治体の持つ公害克服の各種技術・ノウハウ
・連携企業の持つ技術・ノウハウ

特区における拡充・活用案



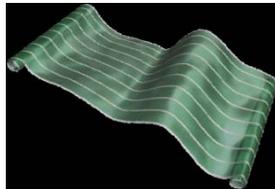
展示機能の拡充や、展示効果を最大化する仕組みの整備が必要



優れた環境技術



豊光社(株)
省エネ照明



三菱化学
有機薄膜太陽光パネル



安川電機(株)
省エネインバーター



省エネルギー化につながる
電磁鋼板

先進的なシステム

北九州スマート コミュニティ創造事業



北九州エコタウン



総合コンビナート



家電リサイクル

ウォータープラザ北九州



下水の膜処理システム



海水淡水化システム

相手都市のニーズに応じたオーダーメイド方式によるパッケージ展開



アジア
ネットワーク
強化

北九州市

海外への環境ビジネス展開により地域の活性化

WIN-WINの関係構築

アジア諸都市

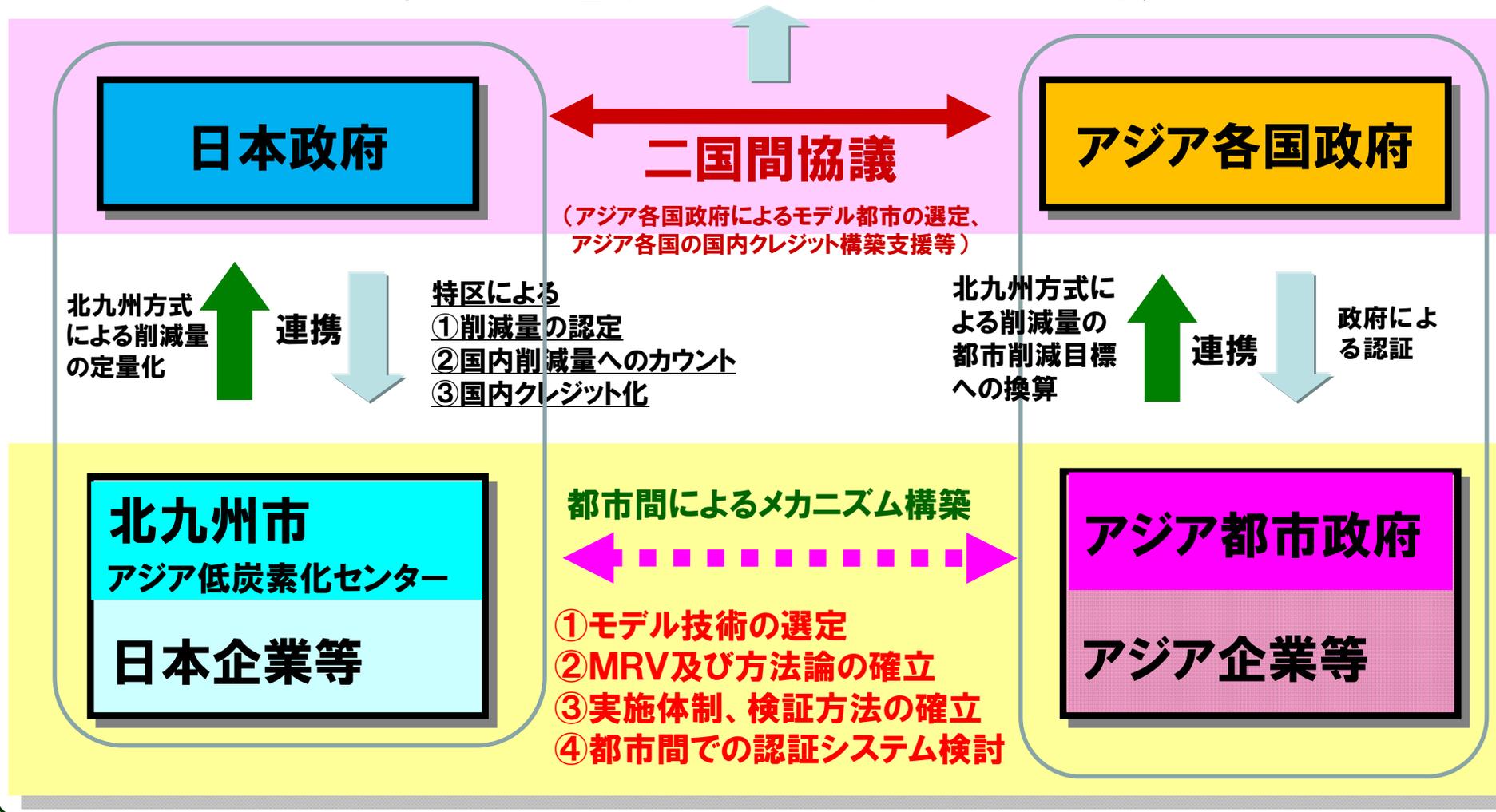
CO₂削減と同時に、汚染の緩和や生活の質の向上

【③-2-a】4) 中国・北京環境交易所との協定に基づく、
温室効果ガスの二国間クレジットの仕組みづくりの拠点化



■2013年以降のモデル形成と2020年以降の新枠組への実証事業

モデル事業後、それぞれの国での国内クレジット化を経て、
国際ルールを確立し、二国間クレジットへ発展



【③-2-b】1) 北九州スマートコミュニティ創造事業の 成果を海外へビジネス展開



北九州スマートコミュニティの成果(エネルギー関連製品とエネルギーマネジメントシステムのパッケージ化)を海外へビジネス展開する。



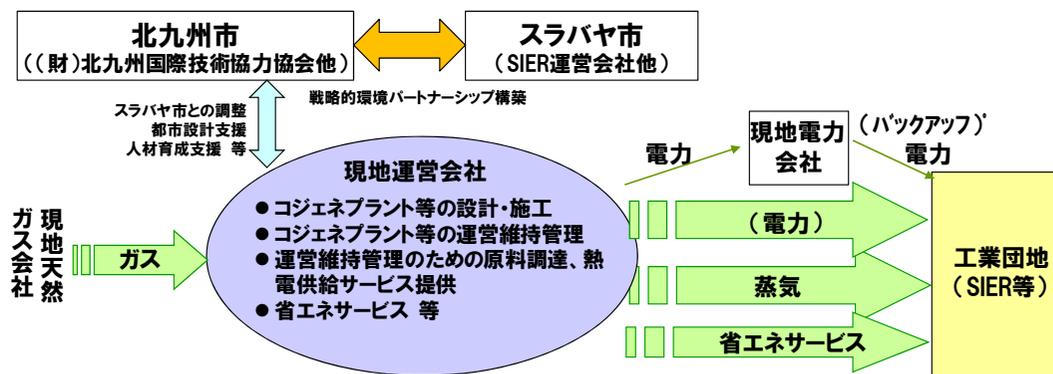
海外へビジネス展開

エネルギー関連製品と
エネルギーマネジメント
システムのパッケージ化



<インドネシア・スラバヤ工業団地コジェネ&省エネ事業>

- 環境・エネルギーの高度化に関するマスタープランづくり(スラバヤ工業団地:SIER)
- 八幡東田スマートコミュニティ事業の技術・ノウハウの輸出



【③-2-b】1) 海外水ビジネスの展開



カンボジアにおける技術コンサルタント参画の覚書を締結(12月19日)



首都プノンペンで開催された水道セミナーで北九州の高い技術力をPR(12月20日)

ウォータープラザ北九州

